



■金沢大学〈グローバル〉スタンダード (KUGS)

学生が卒業までに身に付けるべき能力として、金沢大学が示しているもので、グローバル化が進行する現代社会で中核的リーダーとして活躍する人材を育成するための6つの指針。

- ①自己の立ち位置を知る
- ②自己を知り、自己を鍛える
- ③考え・価値観を表現する
- ④世界とつながる
- ⑤未来の課題に取り組む
- ⑥新しい社会を生きる



金沢大学の教育組織 4学域・20学類

**融合学域**  
文理融合の知識を基に、イノベーションをリードする。

先導学類

観光デザイン学類 **定員増**

スマート創成科学類 **定員増**

**人間社会学域**

人間のこと、社会のこと、知の世界を、自由自在に探究する。

人文学類

法学類

経済学類

学校教育学類 共同教員養成課程

地域創造学類

国際学類

**理工学域**

高度な創造力と技術力を備え、社会に貢献できる科学人の育成を目指す。

数物科学類 **女子枠**

物質化学類

機械工学類 **女子枠**

フロンティア工学類 **女子枠**

電子情報通信学類 **定員増** **女子枠**

地球社会基盤学類 **女子枠**

生命理工学類

**医薬保健学域**

最先端の知識と技術を身に付け、温かさのある医療人を育てる。

医学類(6年制)

薬学類(6年制)

医薬科学類

保健学類

- 看護学専攻
- 検査技術科学専攻
- 作業療法学専攻
- 診療放射線技術学専攻
- 理学療法学専攻



わたなかし 和田隆志学長

1988年金沢大学医学部医学科卒業。92年同大学大学院医学研究科博士課程修了。博士(医学)。専門は腎臓内科学、臨床検査医学。金沢大学教授、医薬保健学域医学類長、理事・副学長などを経て2022年より現職。

金沢大学は1862(文久2)年に創設された加賀藩彦三種痘所を源流とし、旧制第四高等学校等の前身校から受け継いだ160年に及ぶ歴史と伝統を有する総合大学です。金沢大学憲章に掲げる「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」という基本理念に立脚した改革を推進し、伝統と革新の融合から新たな知を創造しています。

2022年には金沢大学未来ビジョン「志」を策定し、研究大学として、世界的研究拠点の形成と未来を牽引する人材育成を推進しています。また文部科学省「世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)」に採択されたナノ生命科学研究所をはじめとしたフラッグシップ研究所群が世界最先端の研究成果を発信しています。

2024年度からは、融合学域観光デザイン学類、スマート創成科学類、理工学域電子情報通信学類の入学定員増、理工系5学類で「女子枠特別入試」を導入するなど、さらなる改革を進めています。

# 金沢大学

## 「未来知」で社会に貢献する人材を育成

### KUGSに基づく優れた教育プログラム

金沢大学では、学生が卒業までに身に付けるべき能力を「金沢大学〈グローバル〉スタンダード(KUGS)」として示しています。学士課程から大学院まで、すべての教育カリキュラムがKUGSに沿って展開されており、一貫した教育・学生支援のもと、全学生在がグローバル化が進行した現在の国際社会で必要な教養をバランスよく身に付け、人間力を磨けるようになっています。

このKUGSの修得のため、文理融合型の先導STEMAM人材育成プログラムを拡充しています。このプログラムは、自身の専門分野に軸足を置きながら、積極的に他分野の知見を深め、異分野・異文化協働を実践することによって、未来課題の解決に挑戦する、先導STEMAM人材の育成を目的とします。STEMAM教育とは、Science(科学)・Technology(技術)・Engineering(工学)・Mathematics(数学)といった理数系を学修する「STEM教育」に

Art(アート、デザイン)の創造的要素を加えた、俯瞰力と実践力を身に付けるための教育手法です。

### KUGS高大接続プログラムとKUGS特別入試

KUGSの能力が身に付くようにつながった「KUGS高大接続プログラム」を高校生等を対象に開講しています。興味のある個別プログラムを選択・受講し、課題レポート「大学の学び」と「高校での学び」を提出し、両方の評価基準を満たすと「KUGS特別入試」の出願資格が取得できます。KUGS特別入試では志願者の能力・資質・意欲を多面的・総合的に評価します。

### 数学または文学に特異な才能を持つ人を応援する超然特別入試

金沢大学では「現代の若き算用者」の発掘を目的に、「日本数学Alympiad(エーリンピアード)」を開催しています。これは、国際数学Alympiadが出題する実社会に起こりうる世界的な課題に、卓越した数学と英語の力を持った全国の高校生がチームで挑戦するものです。入賞者には超然特別入試「Alympiad選抜」への出願資格を付与します。

また、新しい世界を拓く言葉の若き探究者を見出すために、金沢大学コンテスト「超然文学賞」を開催しています。将来「言葉の力」で世に出ることを強く望む高校生の優れた才能を称え、その志を励ますことを

### 世界的研究の強化と社会共創の実現を推進

金沢大学には、文部科学省「世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)」に採択されたナノ生命科学研究所など、7つのフラッグシップ研究所をはじめとした世界的研究拠点が多数あります。

2023年4月には、先端観光科学研究所を新設しました。文理融合の学際的アプローチによって、観光に関わる行動、サービス、政策・制度を科学的に解析し、観光による未来変革を研究することで、観光の促進と地域の発展に寄与することを目指しています。

同年5月には、医薬保健研究域附属サピエンス進化医学研究センターを新設しました。本センターは、古代人ゲノム研究・データサイエンス・医学生命科学研究を統合する新しい学術分野の創生と発展を通じて、人類進化プロセスや疾患病態の解明と、革新的な医療を実現します。

今後も文理医分野の融合研究を推進し、世界的研究拠点の形成のために、全学を挙げて実証研究を展開していきます。併せて、大学院の飛躍的な機能強化など、若手研究者育成支援を積極的に進めるとともに、研究成果を教育に還元していきます。

### オール金沢大学で「未来知」により社会貢献

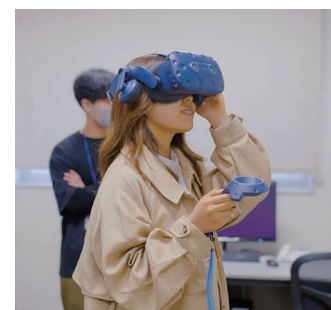
金沢大学未来ビジョン「志」では、



G7富山・金沢教育大臣会合のエキスカッション(視察)

「オール金沢大学で『未来知』により社会に貢献する」というメッセージを発信しました。これは、金沢大学の学生、教職員が互いの尊重と協働のもとで目指すべき方向を示す、北辰(北極星)となるものです。

2023年5月には、G7富山・金沢教育大臣会合のエキスカッション(視察)が行われました。G7各国の大臣や国際機関の代表者の方々が金沢大学を訪れ、金沢大学生たちと教育の未来について対話しました。「世界中が急激に変化する中、金沢大学は希望ある社会に向けて、人類の英知を融合した文理融合の『総合知』を高めてきました。さらに、現代から未来の課題を探求し克服する知恵『未来知』により社会に貢献することを私たちの目標とし、その『志』を皆さんと共有したいと思っています」と和田学長は語っています。



メタバースを活用した教育DXの取り組み